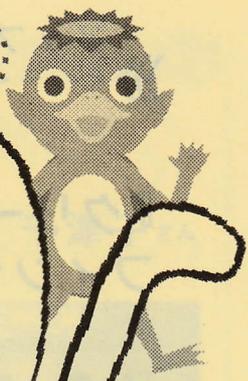


# ボランティア やってみよう

この夏、  
“アップサイクル”  
しちゃおう？！



7月17日(土) ~ 8月31日(火)

のたろんにまかせて！

# 夏の ボランティア市 2021

今年も夏の期間におこなわれる、ボランティア・市民活動  
の募集情報やイベント情報を集めました。

冊子はサポートセンター、市役所や駅にも置いています。



子ども食堂に参加しよう  
インクルーシブ学童  
地域カフェのお手伝い  
フードドライブ  
オンラインで夏祭りに参加しよう

遺跡めぐり  
災害時ペット同行避難・座談会  
パソコン相談会  
などなど・・・

# のたろん夏号

((すかっこの市民活動情報))

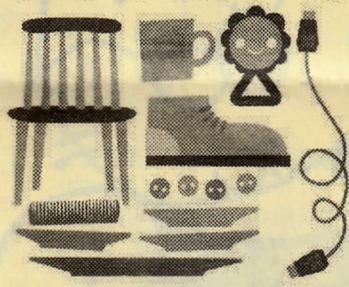
アップサイクルってなに？



クリーニングデイ？ 掃除洗濯？クリーニングのこと？

# 『クリーニングデイ』それは、 フィンランド発祥の「リサイクル」&「地域交流」イベント

## CLEANING DAY JAPAN



クリーニングデイと称したイベントが、フィンランドだけでなく日本各地でも多発的に開催されています。

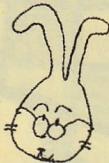
「リサイクル」といっても、クリーニングデイのリサイクルは今までのリサイクルという考え方とはひと味が違います。

再利用するだけでなく、古くていらなくなったものに新しい価値をつけて生まれ変わらせる。それを『アップサイクル』といい、クリーニングデイの大きいコンセプトになっています。

すてきな  
とりくみよね～



ヨコスカで  
サポセンで



**開催**

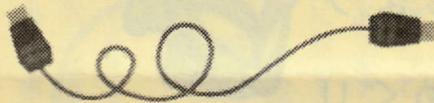
のたろんキッズデイ

主催：ヨコスカマナビとサポセンの共催

## クリーニングデイ 横須賀 2021

8月28日 **Saturday** 土曜日  
10:00 - 15:00

会場は、市民活動サポートセンターとその周辺



物々交換したいもの持ってきて

### キッズ物々交換



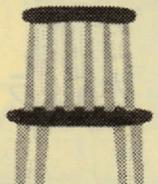
どんなものがあるかな

### キッズフリーマーケット



廃材から素敵なものが…

### アップサイクルな手作り体験



8月最後の土曜日  
みんなで新しいこと  
しよーよ♪

支点と重心の関係がわかります

### バランスボード作り

自分で作ると楽しいよ

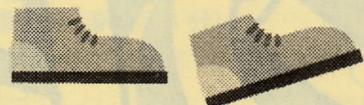
### 手作りおもちゃ作り

みんな大好き

### ヨーヨー釣り

対戦型トレーディングカードゲーム

### 地球環境カードゲーム「My Earth」体験会



# ひと ～市民活動を支える人たち～

## グリーンハイツ「ゆいの広場」代表 石塚 千津子 さん

屈託のない笑顔で、みんなをファンにする。ゆいの広場、石塚さんにお話を伺った。

高度成長期前の団塊世代 1949年、工場地帯の横浜市鶴見区で生まれた。ほどなくして、産業道路を隔てた川崎市に転居、公害と煤煙の中で育った。七夕で、鶴見川に笹舟を流した思い出もある。

小さいときは、ものすごく体が弱くて寝てばかり。お正月、新しいぽっくりを買ってもらっても、外に出られず布団の上で歩いた。過保護ではなかったけれど、両親にはたくさんの愛情を注がれ、姉たちからも大事にされた。感謝しかない。「人は、大事にしなくちゃいけないだな」と心に刻んだ。

歌を歌うのが大好きで、近所の子と歌手になったようなつもりでよく歌って遊んだ。中学では、コーラス部。公立の商業高校に入学して、ご褒美でお琴を習った。

高校を卒業してから、日本橋の会計事務所に勤める。夜は、高田馬場の短大に通った。会社の経理部に転職したこともあったが、税理士を目指そうと思ったことがあり、また別の会計事務所に勤めた。

結婚しても、暫くは実家暮らしをしていた。夫と父が同じ会社で、家でも職場でも顔を合わせる状態。両親にとってよくても、家族のために環境を変えたいと思った。マンションを探し、長女が2歳の時、横須賀市長沢のグリーンハイツに居を構えた。

市民活動との出会いは、横須賀おやこ劇場。グリーンハイツで説明会があったときに、最初に手を上げた。「私自身が、お芝居観たり、音楽がものすごく好き。子どもたちにもそういう環境をつくってあげたい」。運営委員長を務めたこともあった。事務局長に、会員制の会の作り方、地域で会をつくってゆくことの大切さ、みんなで共感しあう喜びを教わり、いい経験になった。13年間ほどの活動の後、仕事の都合で市民活動を離れた。

市民活動はできなかつたが、地元の生協の委員になった。イベントで音楽会をやろうと企画。文化会館に日本フィルハーモニーを呼んで、弦楽四重奏、はまゆう会館で、小室等のコンサートをした。仕事が忙しくても、好きなことはやれた。

ある日、サポセンの運営委員長をしていた旧知の事務局長に「サポセンの運営委員になるとよい。常に社会を見て！籠っちゃ駄目よ」と声を掛けられた。自分にできるかな？と思ったが、運営委員をしてみると、知ると知らないでは大きく違うなと思った。

定年を迎えたとき、「地域の方と繋がりが無い」とふと気づいた。子どものことでは、PTAやおやこ劇場、子ども会の繋がりはあったけれど、グリーンハイツ全体のことを見てはこなかった。自分の中では、趣味も良いけれど、今までやってきた活動での人との繋がりを思い返すと、何かをつくってゆきたいと思うようになっていた。

近隣に声を掛けてつくった準備会。1年間検討を重ねて、ゆいの広場を設立した。以来、生活支援有償ボランティア、認知症カフェ、コミュニティカフェなどの地域活動を行っている。

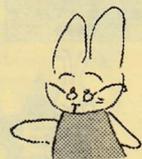
「散歩コース20分くらい歩くと、うみべのえほんやツバメ号に着く。今日もツバメ号に行こう・・・自分だけがツバメ号にいて、楽しい思いをして、おいしいものを食べて、いい本を選んで・・・そうではなくて、みんなに知ってほしい。この音楽もみんなに聞いてほしいな、私の出会ったものはみんな、ゆいの広場に運んじゃおう。」人生の季節ごと市民活動が彩りを添える。そんな生き方を学んだ。  
(はこざき)



### 団体紹介

#### グリーンハイツ「ゆいの広場」

高齢者や体の不自由な方々のための生活支援サービスや子育て世代の方々の支援をおこなっています。おしゃべりサロン・講演会・寄席などを開催。「ゆいの広場」は、自分たちが少しでも元気なうちに高齢者のお役に立ち、そして自分たちが歳をとったときには、元気な人に手助けしてもらえるような会を目指しています。歳をとっても、元気で、笑って、楽しく暮らせるように、一人一人の力を少しずつ出し合っ



M ねえ、ぬまちゃん。なんで名札にそんなに色々どジャラジャラくっつけてるの？ ジュリアナ？

懐かしいわね、あの頃は楽しかったあ。ってそんなわけないでしょ！これはね、全部市民活動に関係があるものなのよ。

M えっ、派手にしたいだけでつけてるんじゃないんだ！？ どんなものなの？

まずこの紫のはね、「パープルリボン」っていうの。女性への暴力を許さない社会を目指すシンボルなの。次にオレンジのは「オレンジリボン」。子ども虐待のない社会を目指しますって意味のシンボルマークよ。

M へえ、じゃあ、ぬまちゃんは「あたしや暴力も虐待も許さないわよー！悪いごはいねがあー！」ってつけてるんだ。

なんで私、なまはげみたいなの…。もうひとつのリボンは「シトラスリボン」で、コロナ禍の中で感染者や医療従事者への偏見を防止するのを目的としたもの。差別はせず暖かく迎えあう気持ちを表現したものなんだ。

M みんなりボンなのに、全部に違う気持ちが込められているんだねえ。何のリボンつけているかで、どんな活動に興味があるのか分かるかもしれないね。

そうね、私も女性への暴力に憤りを感じる、児童虐待防止の活動に協力したい、コロナに感染した時には差別をしてほしくないっていう気持ちがあるから、三色のリボンをつけてるんだ。つけてる物には、その人の考えや価値観が表れてるんじゃないかな。

M あ！ぬまちゃんがつけてるバッジは分かるよ！SDGsでしょ！？

おっ、さすがのたろん！正解よ。SDGsのことをみんなに知ってほしいなーと思ってつけているの。

そっかそっかー。いいなー、のたろんも名札欲しくなっちゃった！ちょーイケてる自分の名札つくろつと！

(・・・ガサゴン・・・)

M のたろん、名札にかわったものつけたわね…。まあ、のたろんらしいかな(笑)

のたろんが作った名札は、サポセンに来るか、サポセンのホームページで見る事ができるよ！

甘党錦鯉 第10回

コイがコイする季節かな

うげ…今日の最高気温…25度超えてる…汗  
梅雨の時期はもう過ぎて夏なんじゃないかと思う今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。甘党です。錦鯉大好き人間は気温がとっても気になります。なぜかって…コイがコイするかもしれないからです。

鯉は毎年春に繁殖期を迎えます。つまり恋の季節です、はい。南の方だと4月中旬くらいから、北海道だと9月くらいまでで、気温の上昇とともに水温が15度を超えるようになる時期からが繁殖期と言われています。この時期になると、自然の池や川では浅瀬に鯉が集まってきてバシャバシャ音を立てながら水草に卵を産み付けます。自然界ではメス1尾に対してオスがたたくさん…ということで、コイのレースは熾烈を極めることもあるようです。頑張れよ、男子ども。

そういうえば以前、甘党の愛錦鯉も自宅の水槽内で卵を産んだことがありました。その時はふ化した子はいなかったのですが、メスがしていることがわかって「養殖…いけるかも」とか考えていたことがあります。ちなみに養殖業者さんたちは大体メス1尾に対してオス2尾で「グループ交際」をさせるみたいです。意図的に三角関係を作り出すとは…やはり錦鯉の世界でも三角関係は最強のコイのバランスなのでしょうが、「逃げ恥」もびっくりだぜ…

…とまあ、ムズキユンなお話を始めると止まらなくなってしまうそうなので今回はここまでで、完全に「色気よりも食い気」の甘党がなぜかコイのコイ事情についてご紹介してみました。  
ではまた、次回お会いいたしましょう

小串滋彦

サポセンtopics トピックス

New スタッフが紹介する ボランティア情報

横須賀市内や横須賀近郊でボランティアを募集しているグループを掲載しています。「ボランティアしたい」って思ったときに役立ちます。

イベント活動の補助とか  
福祉関係のものも多いね  
環境保全のボランティアもあるね

市民活動 ガランティア 掲載番号

2016年 横須賀市立市民活動サポートセンター

ハリオン      ホーランド      北田

サポセンは、福祉、まちづくり、文化、環境、国際、災害救援など、あらゆる分野の市民活動をサポートする施設。通常9時から22時、土日も開館。印刷や打合せなどができます。

- ◆サポセン情報発信サイト「のたろんジャーナル」
  - ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
  - ◆サポートセンターのホームページ
- 「のたろんWeb」は「のたろん」で検索♪



のたろん 検索

情報誌「のたろん」夏号(通巻87号) 2021年7月1日  
発行 横須賀市立市民活動サポートセンター  
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート  
横須賀市本町3-27(京浜急行汐入駅徒歩1分)  
TEL 046-828-3130  
FAX 046-828-3132  
市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

編集ボランティアはこざき・みずたに・おぐし  
スタッフ/ぬまさき・のぎむら